

研究活動報告

(2015年1月1日～2015年12月31日)

ここに収録された活動報告は、国際教養学部専任教員の発表したもののうち、2015年1月1日より2015年12月31日までの期間に学術雑誌等や学会、講演会等で発表したものを、以下の種別に従って掲載したものである。掲載順序は、教授、前任准教授、准教授、講師、助教の順とし、それぞれの職位内で五十音順とした。また、論文の性質、発表機関などには制限を加えず、基本的には提供された原稿のまま掲載した。

掲載内容の種別：英文原著、和文原著、英文総説、和文総説、英文著書、和文著書、英文報告、和文報告、特別講演・招待講演等、学会発表（国際）、学会発表（国内）、その他（広報活動を含む）

木南英紀

〈その他（広報活動を含む）〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	毎日新聞 特集：知りたい！あの学部あの学科「医療と健康軸に世界で活躍する人材育成を国際教養学部 順天堂大」	木南英紀	2015年2月5日掲載
2	日経産業新聞 「注目の大学人」	木南英紀	2015年2月16日掲載
3	大学時報 3月号 座談会「改正学校教育法施行後の教学マネジメント体制」	木南英紀	大学時報3月号, 2015年3月20日; 64(361): 15-25, 日本私立大学連盟発行
4	日本栄養学教育学会雑誌 創刊号 特集：3人の学長が語る「これからの栄養学教育」	木南英紀	日本栄養学教育学会雑誌, 2015年10月; 創刊号, 日本栄養学教育学会発行
5	科学新聞「順天堂大と立命館大が学術交流で包括協定」	木南英紀	2015年10月19日掲載
6	朝日新聞 広告特集：順天堂大学特別座談会「スポーツで築く豊かな社会」	木南英紀	2015年12月27日掲載

鳥飼玖美子

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Juntendo University's Joint Efforts in Omotenashi-Hospitality for Team USA Training Camp ahead of the IAAF World Championships, Beijing 2015	Aoki K, Yamazaki K, Torikai K, Sakuma K, Kano M, Kominami E.	Juntendo Medical Journal, 2015; 61 (5): 474-475, The Juntendo Medical Society
2 Nagasaki Tsuji in historical novels by Yoshimura Akira: An alternative way of studying the history of interpreters	Torikai K.	Interpreting Special Issue: The History of Interpreting, 2015; 17 (2): 75-96, John Benjamins

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 言語力の育成をどうはかるか：言語力とは何か	鳥飼玖美子	『実践国語研究』, 2015; 39 (3): 74-75, 明治図書
2 言語力の育成をどうはかるか：母語と外国語	鳥飼玖美子	『実践国語研究』, 2015; 39 (4): 74-75, 明治図書

〈和文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 グローバル化と現代日本の英語教育政策	鳥飼玖美子	鳥飼玖美子（編著）『一貫連携英語教育をどう構築するか：「道具」としての英語観を超えて』 2015; 4-17, 東信堂
2 小学校の英語教育は必要か	鳥飼玖美子, 西山教行, 大木 充	『世界と日本の小学校の英語教育』 2015; 269-301, 明石書店

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 自律した学習者を育てる英語教育の探求：小中高大を接続することばの教育として	鳥飼玖美子（代表）	『研究報告 NO. 83』, 公益財団法人中央教育研究所

〈特別講演・招待講演等〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	グローバル社会に生きる子どもたちとコミュニケーション能力の育成	鳥飼玖美子	富山県高岡市教育委員会, 高岡市民会館, 2015年8月28日
2	グローバル時代の英語教育のあり方	鳥飼玖美子	岩手県英語教育研究会, 盛岡市ホテルメトロポリタン, 2015年2月21日
3	グローバル人材からグローバル市民へ	鳥飼玖美子	中京大学シンポジウム「グローバル化に対応した英語教育とは?」2015年6月13日
4	歴代会長に聞く: 日本通訳翻訳学会の過去・現在・未来一知の継承のために	鳥飼玖美子, 近藤正臣, 船山仲他, 水野の	日本通訳翻訳学会シンポジウム, 青山学院大学, 2015年9月12日
5	グローバル人材育成と英語教育	鳥飼玖美子	東京私立中高協会, アルカディア市ヶ谷(私学会館), 2015年10月10日
6	グローバル市民がめざす英語教育	鳥飼玖美子	香川県教育委員会, 高松市生涯学習センター, 2015年10月24日
7	国際共通語としての英語: 音声指導の視点から	鳥飼玖美子	日本英語音声学会創立20年記念全国大会, 呉高専, 2015年11月7日
8	インバウンドツーリズムの可能性と課題を巡って	鳥飼玖美子	日本国際文化学会パネルディスカッション, 多摩大学, 2015年11月30日
9	歴史小説に見る長崎通詞	鳥飼玖美子	立教セカンドステージ大学, 立教大学池袋キャンパス8101教室, 2015年11月26日

〈その他 (広報活動を含む)〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	NHK「ニュースで英会話」	鳥飼玖美子(監修, ラジオ・テレビ講師, テキスト執筆)	NHK Eテレ(毎週木, 土, 月), ラジオ第一放送(月~金), テキスト(毎月NHK出版)
2	論争の戦後70年 [英語教育]	鳥飼玖美子	毎日新聞, 2015年1月13日オピニオン面

- | | | | |
|----|---|---|--|
| 3 | 放送 90 年 私と語学 | 鳥飼玖美子 | 放送 90 年 生放送特番
2015 年 3 月 22 日 0:00-1:00
E テレ&ラジオ第二放送 |
| 4 | 同級生交歓 | 成田陽子, 鳥飼玖美子, 塚
越裕子, 矢吹恵子, 中村千
賀子, 与儀みどり | 文藝春秋, 2015 年 2 月号 |
| 5 | 「第 7 回全国高等学校英語
スピーチコンテスト」審
査委員長 | 鳥飼玖美子 | 全国英語教育研究団体連
合会主催, 国立オリンピッ
ク記念青少年総合セン
ター カルチャー棟 大
ホール, 2015 年 2 月 9 日 |
| 6 | 特集「NHK 英語の秘密:
ニュースで英会話」 | 鳥飼玖美子 | 週刊『ダイヤモンド』,
2015 年 4 月 4 日号; 55 |
| 7 | 多文化共生 貢献を: 鳥
飼教授最終講義 | 鳥飼玖美子 | 東京新聞, 2015 年 3 月 15
日 |
| 8 | 今から取り組める国際理
解とコミュニケーション | 鳥飼玖美子 | 『チャレンジ通信 2 年生』
2015 年 3 月号, ベネッセ |
| 9 | 特集: 英語ができる子に
育てたい | 鳥飼玖美子 (監修) | 『0 歳からやっておきたい
教育』, 2015 年版日経
MOOK, 日本経済新聞出
版社 |
| 10 | 戦後 70 年 教室の記憶「英
語教育: 適性語から必修
化へ」 鳥飼教授最終講義 | 鳥飼玖美子 | 読売新聞, 2015 年 4 月 18
日, 教育面 |
| 11 | 対談「言葉は文化」 | 佐高 信 (聞き手), 鳥飼
玖美子 | 月刊『俳句界』2015 年 4
月 225 号, 96-103, 文学の
森 |
| 12 | 多言語への意識希薄な日
本社会 | 鳥飼玖美子 | 日本経済新聞 2015 年 5
月 17 日, 書評「コミュニ
テイ通訳」(水野真木子,
内藤稔著) |
| 13 | 「格差」が心配 中学こそ
充実を | 鳥飼玖美子 | 朝日新聞「英語教育 早
いほどいいの?」2015 年
5 月 31 日, 教育面 |
| 14 | 大学入試 英語に『外部
試験』 | 鳥飼玖美子 | 朝日新聞, 2015 年 8 月 29
日, 教育面 |
| 15 | 世界陸上事前キャンプで
通訳ボランティア一順大
国際教養学部 | ボランティア通訳学生お
よび鳥飼玖美子 (通訳指
導) | 読売教育ネットワーク,
2015 年 9 月 2 日 |

小野田 榮著

〈英文原著〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Effects of Issue Logs on L2 Oral Fluency Development	Onoda S.	Language, Literature & Linguistics 4th International Conference Proceedings, 2015; 156–163.
2	Self-efficacy: A key predictor of self-regulated learning	Onoda S.	Studies in Linguistics and Language Teaching No26, 2015; 123–133.

〈和文総説〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	第2部 コミュニケーション力の育成 「日本の英語教育の現場でできること— 目標設定, 指導技術向上, そして学習者の意識づけ—」	長谷川信子編, 小野田 榮著	『日本の英語教育の今, そしてこれから』, 2015年4月; 第12章: 214–233, (開拓社)

〈特別講演・招待講演等〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	中高生の21世紀型スキルを伸ばす英語指導法	Peacock R, Onoda S.	2015年英語教員ブラッシュアップワークショップ, Oxford University Press office, 2015年8月1日2日
2	Gender roles in society	Onoda S.	EPA Course seminar, Dublin City University, 2015年9月9日
3	Speaking Fluency Development	Onoda S.	EAP course seminar, Dublin City University, 2015年9月27日
4	効果的な英語の指導法	小野田 榮	埼玉県入間地区中高英語教育連絡協議会, 2015年12月8日
5	中高生の21世紀型スキルを伸ばす英語指導法	Peacock R, Onoda S.	2015年英語教員ブラッシュアップワークショップ, Oxford University Press office. 2015年12月27日

〈学会発表（国際）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Effects of Issue Logs on L2 Oral Fluency Development	Onoda S.	Language, Literature & Linguistics 4th International conference 2015, Singapore, June 8–9, 2015

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 An instructional design for enhancing the oral fluency of EFL students	Onoda S.	日本メディア英語学会年次大会, 大阪府立大学, 2015年10月11日
2 Approaches to generate alternative teaching ideas	Fanselow J, Onoda S.	Japan Association for Language Teaching 41st Annual International Conference, Shizuoka Convention & Art Center Granship Shizuoka, 2015年11月22日
3 Enhancing the oral fluency of EFL learners	Onoda S.	Japan Association for Language Teaching 41st Annual International Conference, 2015年11月23日

加藤洋一

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Increased extracellular and intracellular Ca ²⁺ lead to adipocyte accumulation in bone marrow stromal cells by different mechanisms.	Hashimoto R, Katoh Y, Miyamoto Y, Itoh S, Daida H, Nakazato Y, Okada T.*YK is a corresponding author.	Biochem Biophys Res Commun, 2015; 457(4): 647–52.
2 Bone Marrow-Derived Regenerated Smooth Muscle Cells Have Ion Channels and Properties Characteristic of Vascular Smooth Muscle Cells.	Hashimoto R, Nakamura K, Itoh S, Daida H, Nakazato Y, Okada T and Katoh Y.*YK is a corresponding author.	J Stem Cell Res Ther, 2015; 5: 257–263.

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 心血管イベントを見据えた糖尿病治療戦略	加藤洋一	糖尿病合併症フォーラム, 浦安市, 2015年6月29日
2 心血管イベント抑制を目指した糖尿病治療戦略～TECOS スタディの結果を踏まえて～	加藤洋一	埼玉糖尿病治療フォーラム, さいたま市, 2015年11月5日

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 A simple method to increase bone marrow-derived macrophages positive for M-CSFR by using a reducing agent dithiothreitol (DTT).	Hashimoto R, Itoh S, Okada T, and Katoh Y.	第32回 ISHR 日本部会総会, 神戸, 2015年12月10日～12月12日
2 ERK inhibition accelerates bone marrow adipogenesis despite the existence of estrogen.	Miyamoto Y, Hashimoto R, Katoh Y and Okada T.	第92回 日本生理学会大会, 神戸国際会議場, 2015年3月21日～23日

川喜多喬

〈和文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 人材育成論集Ⅱ—講演記録編—	川喜多喬	2015年; 346頁, 新翠舎
2 人材育成論集Ⅲ—論考と随筆編—	川喜多喬	2015年; 468頁, 新翠舎
3 産業社会学論集Ⅰ—労働社会学研究編—	川喜多喬	2015年; 346頁, 新翠舎

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 地場中小企業の人材確保・定着・育成～歴史は繰り返す～	川喜多喬	DIO(連合総研レポート), 2015年; (309): 4-7, 連合総合生活開発研究所
2 優れた中堅・中小企業の人材育成に学ぶ	川喜多喬	企業と人材, 2015年; 48(1034): 8-13, 産労総合研究所

- 3 みるよむわかる精神医学入門(N.バートン著, 共訳) 朝田隆監訳, 新井哲明, 石井映美, 石川正憲, 川喜多喬, 川本哲郎, 佐藤晋爾, 太刀川弘和, 根本清貴, 服部訓典, 服部裕之, 久永明人, 文 鐘玉, 堀 孝文, 吉村敦子, 吉本寛司共訳 2015年, 医学書院

北村 薫

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 スポーツの社会的意義	北村 薫	保健の科学, 2015; 57: 33-38, (株) 杏林書院
2 日本におけるスポーツとレイシズムに関するウェブコメントの現状—書き込みの感情価に着目して—	河野 洋, 北村 薫	日本体育学会第66回大会体育社会学専門領域発表論文集, 2015; 23: 47-52.

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Sports Industry in Japan	Kitamura K.	Sport Management Forum 2015, Juntendo University Sakura Campus, 千葉, 2015年3月2日

〈学会発表(国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 スポーツ・余暇活動を目的としたインバウンドの可能性—世界20カ国を対象とした調査より—	松川勇樹, 北村 薫, 原田宗彦	日本スポーツ産業学会第24回大会, 東京, 2015年7月25日~26日

島内憲夫

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 ヘルスプロモーションの近未来—健康創造の鍵は?—	島内憲夫	日本健康教育学会, 前橋中央公民館, 群馬県, 2015年7月4日

- | | | | |
|---|---------------------------------------|-------------|--|
| 2 | ヘルスプロモーションの理論と実際 | 島内憲夫 | 日本ダイバーショナル・セラピーワーカー養成講座, 北海道札幌, 2015年8月29日 |
| 3 | 愛と夢と勇気を育む健康なまちづくり～WHOヘルスプロモーションの視点から～ | 島内憲夫, 鈴木美奈子 | 健康で元気なまちづくり推進研修会, 東郷町役場, 愛知県, 2015年10月23日 |
| 4 | 夢はあなたの明日を創る!～WHOヘルスプロモーションの視点から～ | 島内憲夫 | 千葉県退職校長会50周年記念講演, 千葉県教育会館, 千葉県, 2015年11月5日 |

Shaules J (ジョセフ ショールズ)

〈英文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The intercultural mind: connecting culture, Cognition and global living	Shaules J.	2015年1月, Intercultural Press, Boston, 単著, A5版 228頁

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Understanding Japan through cross-cultural comparison	Shaules J.	Keio East Asia Future Leaders Program 慶應学術大学三田キャンパス, 東京都, 2015年2月6, 7, 8日
2 The linguaculture classroom	Shaules J.	津田塾大学大学院文学研究科英語教育研究コース, 津田塾大学, 東京都, 2015年8月7日
3 The linguaculture classroom; Language education for intercultural understanding	Shaules J.	異文化教育研究所 Deep Culture Seminar Series, 国際文化会館, 東京都, 2015年1月18日, 2月15日, 3月22日, 5月17日, 6月14日, 7月12日, 10月24日

〈学会発表 (国際)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The language-culture connection	Shaules J.	FAB Neuro ELT, Manila, Philippines, January 24, 2015

〈学会発表（国内）〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Ecosystems of learning: Complexity theory in SLA	Shaules J.	FAB Neuro ELT, 京都, 2015年; 9月26日
2	Complexity in the classroom	Shaules J.	JALT (全国語学教育学会) 年次大会, 静岡, 2015年; 11月21日
3	Introducing the linguaculture classroom	Shaules J.	JALT (全国語学教育学会) 年次大会, 静岡, 2015年; 11月22日

宮下 治

〈和文原著〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	教育実習評価票に関する現状と課題に関する一考察—愛知県内連携5大学と東京都教育委員会の評価票の比較から—	宮下 治	愛知教育大学研究報告（教育科学編）, 2015; 64: 111–117.
2	生活や授業とのつながりを大切にした中学理科授業の実践研究	宮下 治, 加藤寛之	愛知教育大学教育創造開発機構「紀要」, 2015; 5: 1–10.
3	教職大学院における現職教員院生の学びに関する研究—カリキュラム改善の検討—	宮下 治, 倉本哲男	愛知教育大学教育創造開発機構「紀要」, 2015; 5: 11–28.
4	科学的な思考力・表現力を高める理科授業方法に関する実践研究—「話し合い活動」の方略の工夫—	宮下 治, 坂本晃伸	臨床教科教育学会誌「臨床教科教育研究」, 2015; 15 (1): 105–112.
5	校内授業研修会におけるカリキュラムマネジメントの効果に関する実践研究	宮下 治	臨床教科教育学会誌「臨床教科教育研究」, 2015; 15 (3): 79–88.

〈学会発表（国際）〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Symposium: Lesson study and curriculum management in Japan—Focusing on action research—	Kuramoto T, Lander B, Miyashita O.	World Association of Lesson Studies International Conference 2015, Khon Kaen University, Thailand, November 24, 2015

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 「概念化シート」活用による校内授業研修会の効果に関する実践研究	宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
2 自由試行・手作り教材の導入による中学理科授業の効果に関する実践研究	森山有里加, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
3 学習課題の設定と関わり合いの工夫により学習意欲を引き出す理科授業	早瀬義之, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
4 話し合い活動を通して思考力を高める中学校理科授業の工夫—身近な生活事象との関連を重視して—	衣川修平, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
5 科学的な表現力を高める理科授業の実践研究	平井祐太郎, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
6 小学校理科における観察・実験の技能向上を図る実践研究	遊免友紀, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
7 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた手立ての有効性—ICT 機器・実験用ワークシートの活用—	稲葉健人, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
8 「読解表現力」を育成する教育的方法の開発的研究—小学校第1学年国語科単元「くじらぐも」を教材として—	青山琴美, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
9 かかわり合いによる「算数的表現力」育成の効果に関する実践研究	小木曾弘尚, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
10 児童間のやりとりの活発化がもたらす効果に関する社会科授業実践研究	今村真弓, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日
11 「座席表カルテ」活用による小1プロブレム緩和の実践研究	出口真理子, 宮下 治	臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日

- | | | |
|--|-------------|---------------------------------------|
| 12 「三つの軸」によるKJ法を用いた授業研究に関する考察—授業における理論と実践の融合を目指して— | 古橋功嗣, 宮下 治 | 臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日 |
| 13 再創造による感性を育成する実践研究 | 杉本 豊, 宮下 治 | 臨床教科教育学会第13回全国大会, 上越教育大学, 2015年1月10日 |
| 14 実験計画を立案する思考力を高める中学理科授業—生徒によるPDCAサイクルを活用した実験の導入— | 森山有里加, 宮下 治 | 日本理科教育学会第65回全国大会大会, 京都教育大学, 2015年8月1日 |
| 15 校内理科授業研修におけるカリキュラムマネジメントの効果に関する実践研究 | 宮下 治 | 日本地学教育学会第69回全国大会, 福岡教育大学, 2015年8月22日 |
| 16 思考力を高める中学理科授業の実践研究—生徒によるPDCAサイクルを生かした学習活動の工夫— | 森山有里加, 宮下 治 | 日本地学教育学会第69回全国大会, 福岡教育大学, 2015年8月22日 |

山倉文幸

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Sumoylated α -skeletal muscle actin in the skeletal muscle of adult rats	Uda M, Kawasaki H, Iizumi K, Shigenaga A, Baba T, Naito H, Yoshioka T, Yamakura F.	MolCellBiochem, 2015; 409: 59–66.

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Nitration of tryptophan residues in proteins: Important roles in some diseases	Yamakura F.	International Society For Tryptophan Research Conference, Grand Rapids, MI, USA, Sep16–18, 2015
2 ニトロ化ストレスとかゆみ～アトピー性皮膚炎とニトロ化タンパク質	川崎広明, 山倉文幸	順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所 文部科学省平成25年度私立大学戦略的研究 基盤形成支援事業 第2回公開シンポジウム, 東京, 2015年10月

〈学会発表 (国際)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Tryptophan nitration induced protein dysfunction in atopic dermatitis	Kawasaki H, Tominaga M, Shigenaga A, Kamo A, Kamata Y, Iizumi K, Kimura U, Takamori K, Ogawa H, Yamakura F	Annual Meeting of Society for Investigative Dermatology 2015, Atlanta, Georgia, USA, May 6–9, 2015

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 大学生柔道選手の健康管理について	池田啓一, 伊藤 匠, 菅波盛雄, 廣瀬伸良, 久保田尚子, 佐賀典生, 小林 淳, 山倉文幸, 細見 修, 佐々木啓	日本薬学会, 第 135 年会, 神戸, 2015 年 3 月
2 型糖尿病モデルマウスでのトリプトファンニトロ化による Glutathione S-transferase の機能障害	川崎広明, 馬場 猛, 重永綾子, 飯泉恭一, 高森建二, 山倉文幸	第 15 回日本NO学会学術集会, 大阪, 2015 年 6 月
3 6-ニトロトリプトファン修飾免疫グロブリンはアトピー性皮膚炎のマーカーになり得るか?	飯泉恭一, 富永光俊, 川崎広明, 重永綾子, 加茂敦子, 鎌田弥生, 高森建二, 山倉文幸	第 15 回日本NO学会学術集会, 大阪, 2015 年 6 月
4 骨格筋で新たに見出された分子量の異なる α-アクチンの細胞内局在の検討	宇田宗弘, 川崎広明, 飯泉恭一, 重永綾子, 馬場猛, 内藤久士, 吉岡利忠, 山倉文幸	第 70 回日本体力医学会, 和歌山, 2015 年 9 月

〈その他 (広報活動を含む)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Young Investigation Award, 審査委員長	山倉文幸	第 15 回日本NO学会学術集会, 2015 年

田村好史

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The factors that affect exercise therapy for patients with type 2 diabetes in Japan: a nationwide survey.	Arakawa S, Watanabe T, Sone H, Tamura Y, Kobayashi M, Kawamori R, Atsumi Y, Oshida Y, Tanaka S, Suzuki S, Makita S, Ohsawa I, Sato Y.	Diabetol Int, 2015; 6(1): 19–25.

- 2 Increased intramyocellular lipid/impaired insulin sensitivity is associated with altered lipid metabolic genes in muscle of high responders to a high fat diet. Kakehi S, Tamura Y, Takeno K, Sakurai Y, Kawaguchi M, Watanabe T, Funayama T, Sato F, Ikeda SI, Kanazawa A, Fujitani Y, Kawamori R, Watada H. *Am J Physiol Endocrinol Metab*, 2015; 310(1): E32-40.
- 3 Evaluation of myocardial triglyceride accumulation assessed on 1H-magnetic resonance spectroscopy in apparently healthy Japanese subjects. Sai E, Shimada K, Yokoyama T, Sato S, Nishizaki Y, Miyazaki T, Hiki M, Tamura Y, Aoki S, Watada H, Kawamori R, Daida H. *Intern Med*, 2015; 54(4): 367-373.
- 4 ATM Regulates Adipocyte Differentiation and Contributes to Glucose Homeostasis. Takagi M, Uno H, Nishi R, Sugimoto M, Hasegawa S, Piao J, Ihara N, Kanai S, Kakei S, Tamura Y, Suganami T, Kamei Y, Shimizu T, Yasuda A, Ogawa Y, Mizutani S. *Cell Rep*, 2015; 10(6): 957-967.
- 5 Switching from Twice-Daily Basal Insulin Injections to Once-Daily Insulin Degludec Injection for Basal-Bolus Insulin Regimen in Japanese Patients with Type 1 Diabetes: A Pilot Study. Tosaka Y, Kanazawa A, Ikeda F, Iida M, Sato J, Matsumoto K, Uchida T, Tamura Y, Ogihara T, Mita T, Shimizu T, Goto H, Ohmura C, Fujitani Y, Watada H. *Endocrinol*, 2015; 176261
- 6 Effects of sitagliptin on ectopic fat contents and glucose metabolism in type 2 diabetic patients with fatty liver: A pilot study. Watanabe T, Tamura Y, Kakehi S, Funayama T, Takeno K, Kawaguchi M, Yamamoto L, Sato F, Ikeda S, Taka H, Fujimura T, Fujitani Y, Kawamori R, Watada H. *Journal of Diabetes Investigation*, 2015; 6(2): 164-172.

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 わが国における糖尿病運動療法の実施状況(第1報) —医師側への質問紙全国調査成績—	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田 茂, 大澤 功, 田村好史, 渡邊智之	糖尿病, 2015; 58(8): 568-575.

〈和文総説〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	2型糖尿病の運動療法	田村好史	医学のあゆみ, 2015; 252 (5): 567-572.
2	Ⅱ肥満2型糖尿病の分子メカニズム 3.骨格筋	田村好史	The Lipid, 2015; 26(2): 32-38.
3	運動療法はどのように指導するのがよいか?	田村好史	プラクティス, 2015; 32 (1): 26-28.
4	レジスタンス運動の必要性	田村好史	プラクティス, 2015; 32 (2): 145-147.
5	インスリン抵抗性をどう評価し, どう活かすか? —中枢神経から標的臓器まで—	田村好史	プラクティス, 2015; 32 (4): 399.
6	臓器別のインスリン抵抗性の発生メカニズムと臨床的意義	田村好史	プラクティス, 2015; 32 (4): 401-409.
7	運動療法の通説とこれから	田村好史	内科, 2015; 115(4): 571-575.
8	最新の知見をふまえた運動療法の治療戦略を探る	田村好史	Life Style Medicine, 2015; 9 (2): 18-21.
9	生活習慣病における骨格筋とスポーツの役割	田村好史	保健の科学, 2015; 57(1): 10-14.
10	糖尿病の運動療法	田村好史	糖尿病と腎疾患, 2015; 78 (増刊号): 185-188.
11	内臓脂肪と異所性脂肪“脂肪筋”から考える運動の役割	田村好史	オレオサイエンス, 2015; 15(8): 13-18.
12	ヒトのインスリン抵抗性を規定している因子	加賀英義, 田村好史, 綿田裕孝	Diabetes Frontier, 2015; 26 (3): 302-306.

〈和文著書〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	5. 運動とメタボリックシンドローム	田村好史, (編) 田城孝雄, 内藤久士	健康長寿のためのスポーツロジック: 70-79
2	6. 運動と糖尿病	田村好史, (編) 田城孝雄, 内藤久士	健康長寿のためのスポーツロジック: 80-92

- | | | | |
|---|--------------------------|--|-----------------------------------|
| 3 | 運動療法 | 加賀英義, 田村好史, (編) 門脇 孝, 荒木栄一, 稲垣暢也, 植木浩二郎, 羽田勝計, 綿田裕孝 | 糖尿病学 : 339–348 |
| 4 | SGLT2 阻害薬の作用・作用機序と適応・禁忌 | 加賀英義, 田村好史, 綿田裕孝, (編) 加来浩平, 綿田裕孝, 松田昌文, 池上博司, 宇都宮一典 | SGLT2 阻害薬の使用指針～市販後の実臨床から適性使用を考える～ |
| 5 | 血糖降下のメカニズムとエビデンス | 加賀英義, 鈴木瑠璃子, 田村好史, (編) 清野 裕, 門脇 孝, 南条輝志男, 大平雅美, 石黒友康, 野村卓生 | 糖尿病の理学療法 : 82–91 |
| 6 | 筋・骨格のアンチエイジングと運動の生理学・生化学 | 鈴木瑠璃子, 田村好史, (編) 齋藤英胤, 木下 茂, 齋藤一郎, 堀江重郎, 南野徹, 山田秀和, 米井嘉一, 葦沢龍人, 新村 健 | アンチエイジング医学の基礎と臨床 |

〈学会発表 (国際)〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Potential usefulness of intra-hepatic lipid accumulation and liver function tests to identify insulin resistance phenotype in non-obese type 2 diabetes.	Furukawa Y, Tamura Y, Takeno K, Funayama T, Suzuki R, Kaga H, Watanabe T, Fujitani Y, Kawamori R, Watada H.	The 75th Anniversary of the Scientific Session (ADA), Boston, USA, June 8, 2015
2	Role of exercise intensity on intramyocellular lipid level after exercise in subjects with moderate insulin resistance.	Funayama T, Tamura Y, Takeno K, Kawaguchi M, Watanabe T, Kaga H, Furukawa Y, Suzuki R, Yamamoto R, Kakehi S, Fujitani Y, Kawamori R, Watada, H.	International Academy of Sportlogy, September 12, 2015, Tokyo, Japan
3	Potential usefulness of intra-hepatic lipid accumulation and liver function tests to identify insulin resistance phenotype in non-obese type 2 diabetes.	Furukawa Y, Tamura Y, Takeno K, Funayama T, Suzuki R, Kaga H, Watanabe T, Fujitani, Y, Kawamori R, Watada H.	International Academy of Sportlogy, September 12, 2015, Tokyo, Japan

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 4 | Exercise-induced transient increase in IL-stimulates GLUT4 expression and enhances insulin sensitivity in mouse skeletal muscle. The 2nd Congress, International Academy of Sportlogy. | Ikeda S, Tamura Y, Kakehi S, Kawamori R, Watada H. | International Academy of Sportlogy, September 12, 2015, Tokyo, Japan |
| 5 | Intramyocellular lipid accumulation after high-fat diet is associated with the gene expression involved in lipid metabolism in skeletal muscle of non-obese men. The 2nd Congress. | Kakehi S, Tamura Y, Takeno K, Sakurai Y, Kawaguchi M, Watanabe T, Funayama T, Sato F, Ikeda S, Kanazawa A, Fujitani Y, Kawamori R, Watada H. | International Academy of Sportlogy, September 12, 2015, Tokyo, Japan |
| 6 | What we learned from brain MR study from the Sportlogy project. The 2nd Congress, International Academy of Sportlogy. | Shimoji K, Tamura Y, Uka T, Hori M, Kamagata K, Watada H, Kawamori R, Aoki S. | International Academy of Sportlogy, September 12, 2015, Tokyo, Japan |

〈学会発表（国内）〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	健康寿命延伸とスポーツロジー	田村好史	第13回日本フットケア学会年次学術集会, 2015年2月14日
2	糖尿病運動療法の指針	田村好史	第49回日本糖尿病学の進歩, 岡山, 2015年2月20日
3	インスリン抵抗性に関わる生活習慣・退室と異所性脂肪	田村好史, 笥 佐織, 竹野景海, 船山 崇	第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015年9月20日
4	糖尿病における運動療法の強度の意義と臨床的適応	田村好史, 笥 佐織, 竹野景海, 船山 崇, 染谷由希	第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015年9月18日
5	非肥満者の代謝障害発生メカニズム～細胞内肥満から考える新規アプローチ～	田村好史	第163回日本体力医学会関東地方会, 東京, 2015年2月28日
6	チアゾリジン誘導体と異所性脂肪	田村好史	第36回日本肥満学会, 愛知, 2015年10月2日
7	内臓脂肪と異所性脂肪“脂肪筋”から考える運動の役割	田村好史	第17回脂質栄養シンポジウム～内臓脂肪をためない生活習慣～, 東京, 2015年2月21日

- | | | | |
|----|---|--|-----------------------------------|
| 8 | 2型糖尿病患者における糖質制限食の有効性と安全性 | 佐藤淳子, 金澤昭雄, 牧田寿美子, 小宮幸次, 清水友章, 池田富貴, 田村好史, 荻原 健, 三田智也, 後藤広昌, 内田豊義, 宮塚健, 竹野景海, 島田 聡, 大村千恵, 山本理紗子, 渡邊威仁, 小林喜代恵, 三浦佳子, 岩岡愛美, 飯島香織, 平嶋奈緒, 波多江千恵, 藤谷与士夫, 綿田裕孝 | 第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 山口, 2015年5月22日 |
| 9 | 同一消費熱量運動における運動強度差がインスリン抵抗性と異所性脂肪に及ぼす効果 | 船山 崇, 田村好史, 竹野景海, 加賀英義, 笥 佐織, 河盛隆造, 綿田裕孝 | 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015年9月20日 |
| 10 | 非肥満2型糖尿病患者における肝内脂肪蓄積及び肝逸脱酵素と臓器特異的インスリン感受性の関連性 | 古川康彦, 田村好史, 竹野景海, 船山 崇, 鈴木瑠璃子, 加賀英義, 渡邊隆宏, 染谷由希, 藤谷与士夫, 河盛隆造, 綿田裕孝 | 第2回肝臓と糖尿病・代謝研究会, 山口, 2015年5月23日 |
| 11 | 当院における1型糖尿病合併妊娠の臨床的検討 | 河野結衣, 池田富貴, 小宮幸次, 内田豊義, 田村好史, 清水友章, 金澤昭雄, 大村千恵, 藤谷与士夫, 綿田裕孝 | 第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 山口, 2015年5月23日 |
| 12 | 24時間の脚ギプス固定は、骨格筋細胞内のジアシルグリセロールを増加させ、インスリン抵抗性を惹起する | 笥 佐織, 田村好史, 池田真一, 河盛隆造, 綿田裕孝 | 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015年9月19日 |
| 13 | 日本人女性における複合運動の実施頻度と糖尿病罹患：症例対照研究 | 澤田 亨, 丸藤祐子, 川上諒子, 田村好史, 津田瞳美, 齋藤光, 宮地元彦 | 第70回日本体力医学会大会, 和歌山, 2015年9月20日 |
| 14 | 健康寿命延伸に対する運動と骨格筋代謝の役割 | 田村好史 | 第58回日本糖尿病学会年次学術集会, 山口, 2015年5月22日 |

〈その他（広報活動を含む）〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	ドクターが語る糖尿病の運動療法	田村好史	ドクターが語る糖尿病の運動療法, 2015年
2	筋肉の老化—サルコペニア	田村好史	べんちのーと, 2015; 26(1): 7.

- | | | | |
|---|---------------------------------|------------------------|-------------------------------------|
| 3 | 筋肉の量的な老化と代謝的な老化と予防 | 田村好史 | べんちのーと, 2015; 26 (2): 7. |
| 4 | 医療・介護現場で運動指導をするための基礎知識 | 田村好史 | 月刊ヘルスネットワーク, 2015; 370: 14-15. |
| 5 | 骨格筋細胞内脂質を規定する因子と分子メカニズム | 田村好史 | メディカル・ビューポイント, 2015; 36(2): 2. |
| 6 | 対談：糖尿病と運動～運動が代謝, 血糖変動に及ぼす影響を探る～ | 田村好史, 岡田洋右 | Calm, 2015; 2(2): 24-31. |
| 7 | 運動と予防医療 | 田村好史, 前田清司, 真田樹義, 宮地元彦 | 予防医療 Aggressive, 2015; 2(3): 34-42. |

Niyonsaba F (ニヨンサバ フランソワ)

〈英文原著〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Cathelicidin LL-37 induces Semaphorin 3A expression in human epidermal keratinocytes: implications for possible application to pruritus.	Umehara Y, Kamata Y, Tominaga M, Niyonsaba F, Ogawa H, Takamori K.	J Invest Dermatol, 2015; 135 (11): 2887-2890.
2	Roles of retinoic acid-inducible gene-I-like receptors (RLRs), Toll-like receptor (TLR) 3 and 2'-5' oligoadenylate synthetase as viral recognition receptors on human mast cells in response to viral infection.	Tsutsui-Takeuchi M, Ushio H, Fukuda M, Yamada T, Niyonsaba F, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S.	Immunol Res, 2015; 61 (3): 240-249.
3	Human β -defensin-3 increases the expression of interleukin-37 through CCR6 in human keratinocytes.	Smithrithee R, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Ushio H, Ikeda S, Okumura K, Ogawa H.	J Dermatol Sci, 2015; 77(1): 46-53.
4	Incidentally detected intracranial sewing needle in a child- A case report.	Muneza S, Nduwamariya MJ, Niyonsaba F.	INAT, 2015; 2 (2) : 95-97.

〈特別講演・招待講演等〉

	内 容	編集者・著者	掲載情報等
1	Multifunctions of antimicrobial (Host Defense) Proteins in the Skin Immunity.	Niyonsaba F.	The 2nd Indochina Conference of Dermatology, Siem Reap, Cambodia, 2015 年 11 月 25 日

- | | | | |
|---|---|--------------|--|
| 2 | Antimicrobial peptides: an essential component of the skin defensive barrier. | Niyonsaba F. | Peking University – Juntendo University Joint Symposium on Brain and Skin Diseases. Beijing, China, 2015 年 11 月 19 日 |
| 3 | 抗菌ペプチドのマスト細胞に対する活性化作用の光と影。難治性“かゆみ”発症機構解明と予防・治療法開発の研究基盤構築。 | ニヨンサバ フランソワ | 第2回公開シンポジウム。東京, 2015 年 10 月 10 日 |
| 4 | Antimicrobial (host defense) proteins in the skin immunity: Friends or foes? | Niyonsaba F. | 2nd Xi'an International Forum on Psoriasis: 38, Xi'an, China, 2015 年 5 月 14 日 |

〈学会発表（国際）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等	
1	Angiogenic peptide-30 (AG-30) activates primary human keratinocytes to produce cytokines/ chemokines via MrgX receptors.	Kiatsurayanon C, Niyonsaba F, Ushio H, Ikeda S, Okumura K, Ogawa H.	2015 Annual Meeting of the Society for Investigative Dermatology, Atlanta, GA, May 6, 2015

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等	
1	Effects of antimicrobial peptide derived from insulin-like growth factor-binding protein 5, AMP-IBP5, on human mast cell functions.	Niyonsaba F, Okumura K, Ogawa H.	The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 岡山, 2015 年 12 月 12 日
2	Angiogenic peptide (AG)-30/5C activates human keratinocytes to produce cytokines/chemokines, migrate and proliferate via MrgX receptors.	Kiatsurayanon C, Niyonsaba F, Ikeda S, Okumura K, Ogawa H.	The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 岡山, 2015 年 12 月 11 日
3	The novel antimicrobial peptide derived from insulin-like growth factor-binding protein 5 (AMP-IBP5) activates normal human keratinocytes.	Chieosilapatham P, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Okumura K, Ikeda S, Ogawa H.	The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 岡山, 2015 年 12 月 11 日

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 4 | Host defense protein S100A7/psoriasin regulates pores in the epidermis: aquaporins and tight junctions. | Hattori F, Ikeda S, Okumura K, Tominaga M, Takamori K, Ogawa H, Okamoto K, Niyonsaba F. | The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 岡山, 2015年12月11日 |
| 5 | Effects of antimicrobial peptides on expression of exon guidance molecules in normal human epidermal keratinocytes. | Umehara Y, Kamata Y, Tominaga M, Niyonsaba F, Ogawa H, Takamori K. | The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 岡山, 2015年12月11日 |
| 6 | A novel host defense peptide, AG-30/5C, activates human mast cell functions. | Kanazawa K, Niyonsaba F, Okumura K, Ogawa H. | The 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology, 札幌, 2015年11月18日 |

〈その他 (広報活動を含む)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 国境を越えたコミュニケーションと健康の追求	ニヨンサバ フランソワ	朝日新聞, 2015年12月8日

Van Amelsvoort M (マルセル ヴァン アメルズフォート)

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Problems and suggestions for public English education	Van Amelsvoort M.	岐阜県教育委員会 平成27年度外国語指導助手の指導力等向上研修, 2015年1月15日
2 Debate	Van Amelsvoort M, Kumazawa G.	神奈川県立国際言語文化アカデミア夏教職員研修プログラム, 2015年8月3日
3 Problems and suggestions for public English education	Van Amelsvoort M.	高知県教育委員会 平成27年度外国語指導助手の指導力等向上研修

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Achieving quality peer interactions in English for academic purposes course	Van Amelsvoort M.	JALT 全国語学教育学会 2015年度全国大会 静岡, 2015年11月22日

湯浅資之

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Age- and sex-specific impact of health literacy on healthy lifestyle characteristics among Japanese residents in a rural community	Yokokawa H, Yuasa M, Sanada H, Hisaoka T, Fukuda H.	Health 2015, doi. org/10.4236/health.2015.76081
2 A health promoting school (HPS) program among primary and secondary school children in Southern Province, Sri Lanka: A qualitative study on the program's effects on the school children, parents, and teachers	Yuasa M, Sirayama Y, Kigawa M, Chaturanga I, Mizoue T, Kobayashi H.	Journal of International Health, 2015; 30 (2) : 93–101.
3 Cross-sectional analysis of self-efficacy and social capital in a community-based healthy village project in Santa Cruz, Bolivia	Yuasa M, Sirayama Y, Osato K, Miranda C, Condore J, Siles R.	BMC International Health & Human Rights doi:10.1186/s12914-015-0054-y

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 都市郊外在宅高齢者における要介護認定度の三年変化と健康三要因, 生活習慣, 社会経済的要因とのパス解	星 旦二, 櫻井尚子, 藤原佳典, 湯浅資之, 加藤龍一, 高燕	社会医学研究, 2015; 32 (2): 89–102.

〈和文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 放送大学テキスト「公衆衛生」	編者 ; 田城孝雄, 横山和仁 著者 ; 湯浅資之	放送大学教育振興会・NHK 出版, 「第 4 章 健康づくり」, 「第 6 章 グローバル化する世界と公衆衛生・国際協力」, 「第 8 章 母子保健」, 「第 13 章 学校保健」, 2015 年 3 月

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 統一した分析フォーマットを用いた国際保健領域における官民連携事例の分析	湯浅資之, 北島 勉, 白山芳久, 西田良子	厚生労働科学研究費補助金地球規模保健課題研究事業「平成 26 年度総括研究報告書」
2 ケニア国における生活習慣病の疫学研究	峰松和夫, 後藤健介, 湯浅資之, 水元芳, 金子 聡	長崎大学熱帯医学研究所共同研究報告書

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 誰にでもわかる国際保健—ヘルスプロモーション	湯浅資之	日本国際保健医療学会学生部会：第 41 回国際協力ワークショップ (佐賀県佐賀大学), 2015 年 2 月 21 日
2 戦後復興までの日本, 途上国のこれから	湯浅資之	日本国際保健医療学会学生部会：国際保健トレーニング合宿 2015 (東京都渋谷区), 2015 年 3 月 14 日
3 Politica SAFCI en el contexto global	Yuasa M.	Graduate School of Public Health, Mayor de San Andres University (La Paz, Bolivia), 2015 年 7 月 27 日
4 健康社会を築いた戦後日本の経験を世界へ	湯浅資之	成田市生涯大学院 (千葉県成田市), 2015 年 10 月 1 日

〈学会発表 (国際)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The laws contributed to smoking control other than health promotion law in Japan	Nakahara T, Iwanaga S, Satomura K, Kusaka K, Harano K, Yuasa M.	14th World Congress on Public Health, Kolkata, India, 2015
2 A cross-sectional study on factors related with estimated salt intake among patients with hypertension and diabetes mellitus in Chiangrai, the northern Thailand	Yuasa M, Nedsuwan S, Moolphate S, Yokokawa H, Kitajima T, Marui E.	47th Asia Pacific Academic Consortium for Public Health Conference, Bandung, Indonesia, 2015

- | | | | |
|---|--|------------------------------------|--|
| 3 | The effects of anti-smoking education using originally developed DVDs among sixth graders at elementary schools in Hokkaido, Japan | Shirayama Y, Yuasa M, Kobayashi H. | 47th Asia Pacific Academic Consortium for Public Health Conference, Bandung, Indonesia, 2015 |
|---|--|------------------------------------|--|

〈学会発表（国内）〉

- | 内 容 | 編集者・著者 | 掲載情報等 |
|---------------------------|--------|--|
| 1 歴史にみる医療刷新の必要性を説く医療再考の言説 | 湯浅資之 | 日本ヘルスプロモーション学会第13回大会, 新潟県新潟市, 2015年11月28～29日 |

石黒武人

〈英文原著〉

- | 内 容 | 編集者・著者 | 掲載情報等 |
|--|-------------|-----------------------------|
| 1 Intercultural context-shifting: A praxis toward a multiple understanding of interpersonal relationships for constructive intercultural communication | Ishiguro T. | 応用言語学研究, 2015; 17: 119-131. |

〈和文原著〉

- | 内 容 | 編集者・著者 | 掲載情報等 |
|--|--------|----------------------------------|
| 1 異文化間の関係構築におけるトランスカルチュラルアイデンティティの表出構造：映画『グラン・トリノ』において観察されるアイデンティティ・ワークの談話分析 | 石黒武人 | 異文化コミュニケーション, 2015; (18): 15-34. |

〈特別講演・招待講演等〉

- | 内 容 | 編集者・著者 | 掲載情報等 |
|--|-------------|---|
| 1 An introduction to intercultural communication studies | Ishiguro T. | 浦安在住外国人会(Urayasu Foreign Residents Association, UFRA) 及び浦安市共催. Our World Today, Wave Small Hall, 新浦安, 2015年3月7日 |

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Intercultural context-shifting: A praxis toward a multiple understanding of interpersonal relationships for constructive intercultural communication	Ishiguro T.	異文化コミュニケーション学会第30回年次大会, 桜美林大学, 2015年9月20日
2 多文化を背景とするメンバーが日本人リーダーのリーダーシップを認知する過程に関する説明モデル: 日本社会に存立する多文化ワークグループを対象として	石黒武人	多文化関係学会第14回年次大会, 岡山大学, 2015年11月15日

〈その他 (広報活動を含む)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 夢ナビライブ 2015 東京会場 講義ライブ「グローバル市民と異文化コミュニケーション」	石黒武人	FROMPAGE 主催 文部科学省後援, 東京ビックサイト, 2015年7月11日

道谷里英

〈和文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 適性—職業適性を中心に	道谷里英	ライブラリストANDARD心理学9 自己心理学・パーソナリティ心理学, 松井豊・櫻井茂男(編), 東京:サイエンス社, 2015; 140-155.

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 キャリアカウンセラーが企業組織で有効に機能するためのあり方を探る	渡辺三枝子, 岡田昌毅・道谷里英	キャリアカウンセリング協会特別セミナー, 東京, 2015年6月11日
2 効果的な職員相談員制度	道谷里英	東京消防庁職員相談員本部教養, 東京, 2015年6月30日

- | | | | |
|---|---------------------|------------|--|
| 3 | 若年就業者のキャリア発達課題とその支援 | 道谷里英, 尾野裕美 | 第9回筑波大学大学院カウセリングコース・キャリア・プロジェクトイブニング・レクチャー, 東京, 2015年8月24日 |
|---|---------------------|------------|--|

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 職場における相談機能のあり方に関する探索的検討	道谷里英	産業・組織心理学会第31回大会, 東京, 2015年8月30日

吉野康子

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 教員採用試験（英語）の長文読解問題—2011～2014年度の言語・文化・教育に関する題材を中心に	吉野康子	武蔵野大学グローバル教育研究センター紀要, 2015; 4: 39-50.

〈和文著書〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 長文読解問題における言語・文化・教育に関する題材—英語教員の資質を問う教員採用試験か—	井村 誠, 拝田 清, 吉野康子	日本の言語教育を問い直す, 三省堂, 2015; 311-320.

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 教員と教科書調査官の職業	吉野康子	四天王寺大学教育学部特別講演会, 大阪, 2015年9月30日

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 大学英語授業での協同学習の実践—言語文化アプローチを指標に—	吉野康子	日本教師教育学会第25回大会, 長野, 2015年9月19日

- 2 教員研修を考える—協同学習の理論と実践から— 吉野康子, 東郷多津 日英言語文化学会第52回例会, 東京, 2015年10月10日

〈その他 (広報活動を含む)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 言語文化教育10年間の歩み	森 住衛, 大澤美穂子, 笠見直子, 仲谷ちはる, 拝田清, 藤上隆治, 吉野康子	東京言語文化教育研究会, 2015; 7, 14, 25, 44, 60

大野直子

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Interpreting at the Olympics: A literature survey and interview	Ono N, Kurihara T.	Educational Studies, 2015; 57: 129–136.
2 The effects of a national mass-media campaign on youth	Ono N.	Journal of Community Medicine and Public Health Care, 2015; 2(1): 1–5.
3 Development and pilot testing of a blended learning program in English for medical purpose	Ono N.	Arab World English Journal Special Issue on CALL, 2015; No. 2: 22–37.
4 Medical interpreter education in Japan: History, current status and prospects	Ono N.	Special issue of The Journal of Translation Studies, 2015; 16(4): 147–165.

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 医学英語, 医療通訳教育へのブレンディッドラーニング導入に関する一考察	大野直子	帝京大学高等教育センターフォーラム, 2015年; 2: 39–51.
2 帝京大学医療系全学部初年次におけるコミュニケーション教育	大野直子, 菱木 清, 関玲子, 楯 直子, 上野公子, 林 弘美, 井上真智子, 榊原圭子, 大胡恵樹, 楨村浩一	日本ヘルスコミュニケーション学会雑誌, 2015年11月; 6(1): 68–78.

〈英文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Moodle-based E-Learning Course Development for Medical Interpreters	Ono N, Kato J.	Proceedings of 17th International Conference on e-Education, e-Business, e-Management and e-Learning, Paris, France, 2015 Oct

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Virtual Medical Interpreting: Development of a Web-based Medical Interpreter Training Program	Ono N, Kato J.	The 31st Annual Conference of Japan Society for Educational Technology 2015 年 9 月 21 日
2 患者対応技術の教育現状	菱木 清, 大野直子, 大胡 恵樹	第 71 回日本放射線技術学会総会学術大会, 神奈川, 2015 年 4 月 18 日
3 1 年生多職種合同ヒューマンコミュニケーション教育の取り組みと効果～学生アンケート結果からの考察～	関 玲子, 大野直子	第 10 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 長野, 2015 年 8 月 19 日
4 医療通訳ウェブ教材開発について	大野直子, 加藤純子	教育システム情報学会 第 40 回年次大会, 徳島, 2015 年 9 月 1 日
5 Moodle を使用した医療通訳教材の開発について	大野直子, 加藤純子, 栗原 朋之	日本通訳翻訳学会 第 16 回年次大会, 東京, 2015 年 9 月 12 日

吉田理加

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 司法通訳	吉田理加	金城学院大学 ABC 貸会議室 (名古屋), 英語英米文化学科英語スペシャリスト養成プログラム学習成果公表「通訳シンポジウム」, 2015 年 1 月 24 日
2 法廷通訳と言語イデオロギー—言語人類学から考えるコミュニケーション—	吉田理加	カイ日本語スクール, 2015 年 1 月 31 日

- 3 言語イデオロギーと法廷通訳 吉田理加 言語文化研究会講演会, 東京女子大学, 2015年11月24日

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 通訳されない法廷談話出来事と法廷言語イデオロギー	吉田理加	法と言語学会研究例会, 早稲田大学, 2015年5月30日
2 法廷通訳と言語イデオロギー—通訳を介した法廷談話の言語人類学的考察—	吉田理加	立教・異文化コミュニケーション学会第12回大会, 立教大学, 2015年6月6日
3 『殺意』—言語学と法律学, 通訳と弁護の交錯	渡辺 修, 水野真木子, 寺田有美子, 栗林亜紀子, 馬小菲, 吉田理加, 平 英司	法と言語学会2015年年次大会, 甲南大学, 2015年12月6日

〈その他 (広報活動を含む)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 司法・法廷通訳	吉田理加	「翻訳・通訳と現代社会」, 立教大学, 2015年10月10日

浅井優一

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Environmentalism and its ritualized fakeness: A semi-otic analysis of onomatopoeic discourse on nature.	Asai Y.	RASK: International Journal of Language and Communication, 2015; 42: 3–40.

〈学会発表 (国際)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The narratives on devils: discordance as metapragmatic discourse in contemporary Fiji.	Asai Y.	The 14th International Pragmatics Conference: Language and adaptability, Antwerp, Belgium, July 31, 2015.

〈その他（広報活動を含む）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 「言語と人間」研究会・第40回春期セミナー（メインテーマ：フィールドワーク）開催役員	浅井優一	2015年3月18日～3月20日
2 「言語と人間」研究会・月例会（読書会の開催担当）	浅井優一	2015年5～11月（月1回）
3 立教大学大学院「言語論」講義（「ヤコブソンからシルヴァスティンへ	浅井優一	2015年12月9日

今井純子

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 個別カンファレンスを通しての『自立した書き手』の育成と『学び』の観察	今井純子	STEP Bulletin（第27回「英検研究助成」研究・実践報告集）日本英語教育検定協会, 2015; 165

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 L2 learning to write through writing conferences: Findings and emerging issues.	Imai J.	SLL Thursday Lecture Series, Department of Second Language Studies, University of Hawaii at Manoa, Honolulu, HI, USA, March 11, 2015

〈学会発表（国際）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 L2 learning to write through writing conferences: Preliminary findings of a mixed-methods inquiry.	Imai J.	Joint Conference of American Association of Applied Linguistics and Canadian Association of Applied Linguistics (AAAL/ACLA), Toronto, Ontario, Canada, March 21–24, 2015

齊藤美野

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The Power of Translated Literature in Japan: The Introduction of New Expressions Through Translation in the Meiji Era (1868–1912).	Saito M.	Perspectives: Studies in Translatology, 平成 27 年 8 月 “Latest Article” として同誌の HP にて公開

〈学会発表 (国際)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Translating “Nation” into Japanese during the Modernization of Japan: Dynamics of Translation as a Social and Interactional Practice	Tsuboi M, Saito M.	Colloquium for the 60th Anniversary of META, Montreal, Canada, August 20, 2015

〈学会発表 (国内)〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 翻訳論と実践の繋がり：明治期の翻訳者を例に	齊藤美野	世界文学・語圏横断ネットワーク第 2 回研究集会, 東京, 2015 年 3 月 20 日
2 日本の「翻訳論」の変遷と展開：近世・近代翻訳の言説を辿る	齊藤美野, 坪井睦子, 佐藤美希, 長沼美香子, 北代美和子, 南條恵津子	日本通訳翻訳学会第 16 回年次大会, 東京, 2015 年 9 月 13 日

白山芳久

〈英文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Hearing Aid Use and Adherence to Treatment in a Publicly-Funded Health Service from the City of São Paulo, Brazil.	Iwahashi JH, Jardim Ide S, Shirayama Y, Yuasa M, Bento RF.	Int Arch Otorhinolaryngol. 2015 Jul; 19(3): 210-5.
2 Cross-sectional analysis of self-efficacy and social capital in a community-based healthy village project in Santa Cruz, Bolivia.	Yuasa M, Shirayama Y, Osato K, Miranda C, Condore J, Siles R.	BMC Int Health Hum Rights. 2015 Jun 20; 15: 15.

- 3 A Health Promoting Schools (HPS) program among primary and secondary school children in Southern Province, Sri Lanka: a qualitative study on the program's effects on the school children, parents, and teachers. Yuasa M, Shirayama Y, Kigawa M, Chaturana I, Mizoue T, Kobayashi H. Journal of International Health2015; 30 (2) : 93–101.

〈英文総説〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 Why Maternal Mortality Ratio (MMR) reduction was selected as one of the eight priority targets in the Millennium Development Goals (MDGs).	Yuasa M, Shirayama Y, Nishida R, Sayama R, Ikegami K, Marui E.	The Juntendo Medical Society2015; 61 (1), 49–56.

〈学会発表（国際）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 The effects of anti-smoking education using originally developed DVDs among sixth graders at elementary schools in Hokkaido, Japan.	Shirayama Y, Yuasa M, Kobayashi H.	第 47 回 Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference in Bandung, Indonesia, October 21–23, 2015

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 国際保健領域における官民連携事例のシステムティック・レビュー	白山芳久, 湯浅資之, 北島勉, 西田良子	日本国際保健医療学会第 33 回西日本地方会, 鹿児島県川内市, 2015 年 2 月 28 日
2 統一した分析フォーマットを用いた国際保健領域における官民連携事例の分析—第 2 報	湯浅資之, 北島 勉, 西田良子, 白山芳久	日本公衆衛生学会第 74 回大会, 長崎県長崎市, 2015 年 11 月 4～6 日
3 統一した分析フォーマット（簡易版）による事例分析—レント王国三次病院	北島 勉, 湯浅資之, 西田良子, 白山芳久	日本公衆衛生学会第 74 回大会, 長崎県長崎市, 2015 年 11 月 4～6 日

- | | | |
|---|------------------------|--|
| 4 「タバコと健康」に関するDVD教材を活用した小学生向け授業の効果について | 白山芳久, 湯浅資之, 小林博 | 日本公衆衛生学会第74回大会, 長崎県長崎市, 2015年11月4~6日 |
| 5 国際保健領域における官民連携事例の分析—第1報—官民連携の事例分析結果の概要— | 湯浅資之, 白山芳久, 北島勉, 西田良子 | 日本国際保健医療学会第30回大会, 石川県金沢市, 2015年11月21~22日 |
| 6 国際保健領域における官民連携事例の分析—第2報—国際援助機関の動向(1)— | 西田良子, 湯浅資之, 北島勉, 白山芳久 | 日本国際保健医療学会第30回大会, 石川県金沢市, 2015年11月21~22日 |
| 7 国際保健領域における官民連携事例の分析—第3報—国際援助機関の動向(2)— | 北島 勉, 湯浅資之, 西田良子, 白山芳久 | 日本国際保健医療学会第30回大会, 石川県金沢市, 2015年11月21~22日 |
| 8 国際保健領域における官民連携事例の分析—第4報—フィリピンにおける官民連携の事例分析— | 白山芳久, 湯浅資之, 北島勉, 西田良子 | 日本国際保健医療学会第30回大会, 石川県金沢市, 2015年11月21~22日 |

東條弘子

〈和文報告〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 中学校英語教師の学びの軌跡	東條弘子, 吉岡順子	英語教育, 2015; 63(12), 22-25.
2 小学校外国語活動における授業談話分析: 漢字の成り立ちに着目して	東條弘子	自律した学習者を育てる英語教育の探求: 小中高大を接続することばの教育として, 2015年; 41-50, 公益財団法人中央教育研究所

〈特別講演・招待講演等〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 質的研究のあり方を考える: 研究手法の違いに着目して	高木亜希子, 千田誠二, 佐藤明可, 東條弘子, 武田玲子	大学英語教育学会・言語教育エキスポ, 2015年; (3), 60-64.
2 教室談話分析の方法と実際	東條弘子	英語教育における質的研究ワークショップ, 2015年, (1), 1-2.

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 質的研究の動向と傾向： 国際誌3誌の分析から	東條弘子	全国英語教育学会，熊本学 園大学，2015年8月23日

平塚ゆかり

〈和文原著〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 「日中通訳者の通訳規範意 識とその形成要因」	平塚ゆかり	立教大学大学院異文化コ ミュニケーション研究科 博士学位論文

〈学会発表（国内）〉

内 容	編集者・著者	掲載情報等
1 「中国における通訳者の規 範意識：近現代及び現代 通訳者の口述史分析から」	平塚ゆかり	日本通訳翻訳学会 第16 回年次大会 2015年9月 13日
2 日中通訳者の通訳規範意 識とその形成要因：通訳 者の口述史分析を通して	平塚ゆかり	立教・異文化コミュニケー ション学会，第12回大会， 立教大学，2015年6月6 日
3 中国における通訳者の規 範意識：近現代及び現代 通訳者の口述史分析から	平塚ゆかり	日本通訳翻訳学会，第16 回大会，青山学院大学， 2015年9月13日